

アプローチNOW

発行・編集：岐阜一般労働組合 〒500-8402 岐阜県岐阜市竜田町4丁目3番地3

TEL：058-213-9330 FAX：058-213-9333

【ホームページ】<https://岐阜.全国一般.jp> 【メール】scrum.giu@nifty.com

2022 春闘速報

2022 春闘は3月16日、大手企業の集中回答日を迎えました。自動車は多くの企業で要求に対し満額回答。電機は大手の半数が、従業員の基本給を底上げするベースアップ（ベア）要求に満額で回答があるなど、新型コロナウイルス禍からの業績回復を受け、主要企業では前年を上回る水準の回答が相次ぎ、また、鉄鋼や造船重機ではベアが復活するなど、**賃上げの機運は高まっています**。また、ロシアのウクライナ侵攻は、ガソリンや小麦の価格高騰を通じて家計の負担増にもつながるだけに賃上げの重要性は増している状況です。

2022 春闘は大手の回答を受けて、今後、中小組合の闘いとなり、岐阜一般も春闘交渉を進めていきますが、組合員の生活改善のため、全力で交渉に取り組みます。

※ **2022 春季生活闘争** ヤマ場の回答引き出し状況に対する芳野（連合会長）のコメント

2022 春季生活闘争において我々は、経済の後追いではなく経済・社会の活力の原動力動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を展開し、2月末までに賃上げを要求した組合数は昨年を上回った。先行組合回答引き出しのヤマ場（3月15～17日）に向けて、「『人への投資』と月例賃金の改善にこだわった交渉を粘り強く進め、最大限の回答を引き出し、賃上げの社会的広がり拡大していく」ことを確認し、交渉を進めてきた。現時点までに示された回答は、産業による違いはあるものの、多くの組合で賃上げを獲得している。コロナ禍の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻や燃料・資材価格の高騰等が起こった中での労使交渉となったが、中長期的視点を持って「人への投資」と月例賃金にこだわり粘り強く交渉した結果と受け止める。また、有期・短時間・契約等労働者の賃上げ結果も格差是正に向けて一歩前進と受け止める。先行組合が引き出した回答は、総じて後に続く組合を勇気づけるものである。分配構造の転換をめざし、賃上げの流れを広げていくため、連合は、これから本格化する中堅・中小組合の交渉を、構成組織・地方連合会と一体となってサポートしていく。

● 当面の日程

3月	27日	9:00	第15回中間期代議員会	ワークプラザ岐阜
3月	27日	10:00	東海ブロック春闘交流会	ワークプラザ岐阜
4月	20日	18:30	第3回五役会議	本部事務所
4月	24日	10:00	第93回岐阜県中央メーデー	じゅうろくプラザ

※ 主要企業の回答状況

	社名	要求	回答
自動車	トヨタ	平均賃上げ（非公開） 職種、職位別に 1,600 円～4,900 円	満額
	日産	総額 8,000 円	
	本田技研	ベア+手当 3,000 円	
	マツダ	総額 7,000 円	
	三菱自工	ベア 1,000 円	
	SUBARU	総額 6,400 円	
	スズキ	総額 7,500 円	総額 7,100 円
	ダイハツ	総額 7,700 円	総額 6,700 円
電機	日立	ベア 3,000 円	満額
	東芝	ベア 3,000 円	
	NEC	ベア 3,000 円	
	パナソニック	ベア 3,000 円	ベア 1,500 円
	富士通	ベア 3,000 円	
	三菱電機	ベア 3,000 円	
	シャープ	ベア 3,000 円	
鉄鋼	日本製鉄	ベア 2022 年度 3,500 円 ベア 2023 年度 3,500 円	ベア 2022 年度 3,000 円 ベア 2023 年度 2,000 円
	JFE スチール		
	神戸製鋼		
造船重機	三菱重工	ベア 3,500 円	ベア 1,500 円
	川崎重工		
	IHI		

